

必要だとして始めた事業であり、これを自専道が間に合わないからといって、先延ばしにすれば、市場本体の整備が遅れているのではないから、当初のスケジュールどおりで進めさせていただきたい。

自専道の整備が間に合わなくても、新市場の開場は平成26年度を目指して進めていきたい。市場関係者の方々には、自専道ができなくても、辛抱して移転してほしい。

市場業界として、自専道がなければ、何が必要なのか。十分検討され、意見をいただきたい。

業界からは現在、7項目の要望をいただいているが、今回、自専道が間に合わないとするならば、どのようにしたら移転できるのか議論してほしい。市としても、どのようにしたら、皆さんが円滑に新市場へ移転し、安心して営業活動が行えるか、一緒に考えていきたい。

委員長

自専道の問題だけでなく、我々の要望に対して、全く回答がなく、何も動きがないことが不満である。

回答がないため、質問や意見もできない、そういった状況ではないか。

この件に関しては、この後引続き「市場協議会」を行い、今後の対応について、業界だけで協議したいと思いますので、ここで、「新青果市場整備委員会」は終わりとします。

開設者の方はご退席ください。